

# 「(仮称)新・港区史」構成

資料1-2

基本構成						想定文字数 合計	公開時期	各編の 概算頁数 (想定)	刊本形態 9分冊 (想定)
編	章		節	項					
自然史・原始編  <small>地形・地質・生物・ 気象等の自然の歴史 旧石器時代・縄文時代 ・弥生時代</small>	港区の自然					別紙1参照 (1ページ)	111,000	175項程度	第1巻  A4 フルカラー 105頁程度
	第1章	港区の地形と地質							
	第2章	港区の気候と気象							
	第3章	港区の生物							
	第4章	自然の歴史と人びと							
	港区の原始					別紙1参照 (1ページ)	43,200	175項程度	第2巻  A5 モノクロ 180頁程度
	第1章	港区の考古学研究							
	第2章	港区の旧石器時代							
第3章	港区の縄文時代								
第4章	港区の弥生時代								
古代編  <small>古墳時代・律令制下 (飛鳥・奈良・平安) 時代</small>	第1章	港区の古墳時代		別紙1参照 (2ページ)	28,000	40項程度	第2巻  A5 モノクロ 180頁程度		
	第2章	律令制下の港区域							
	第3章	桜田・御田郷と飯倉御厨							
	第4章	古代の港区域の景観							
	第5章	平安末の港区とその周辺							
中世編  <small>鎌倉時代・室町時代・ 安土桃山時代</small>	第1章	鎌倉時代		別紙1参照 (2ページ)	47,200	70項程度	第3巻 A5 モノクロ 360頁程度		
	第2章	室町時代							
	第3章	中世寺院							
近世編  <small>江戸時代</small>	序章	近世の港区域		別紙1参照 (3ページ)	512,000	730項程度	第3巻 A5 モノクロ 360頁程度		
	第1章	初期の都市開発							
	第2章	武家							
	第3章	寺社							
	第4章	町人・村落							
	第5章	文化							
近代編  <small>明治～港区誕生前まで</small>	第1章	明治前期		別紙1参照 (4ページ)	305,600	440項程度	第5巻 A5 モノクロ 220頁程度		
	第2章	明治後期							
	第3章	戦間期(大正・昭和)							
	第4章	戦時体制							
	第5章	文化と文化財							
現代編  <small>港区の誕生～ 平成29年3月末まで</small>	序章	戦後復興から国際都市へのあゆみ		別紙1参照 (5ページ)	600,000	830項程度	第7巻 A5 モノクロ 300頁程度		
	第1章	港区の誕生							
	第2章	人口と社会							
	第3章	議会と行政							
	第4章	税財政							
	第5章	環境							
	第6章	防災と生活安全							
	第7章	産業と労働							
	第8章	教育と文化							
	第9章	福祉		別紙1参照 (6ページ)	600,000	830項程度	第8巻 A5 モノクロ 300頁程度		
	第10章	衛生							
第11章	町域の歴史								
合計						1,647,000			

## 図説版「(仮称)図説 港区の歴史」

基本構成				想定文字数 合計	公開時期	刊本形態(想定)
(検討中)				未定	平成32年3月	A4 フルカラー 260頁程度

## 資料編

基本構成				想定文字数 合計	公開時期	刊本形態 2分冊(想定)
(検討中)				未定	平成35年3月	A5 モノクロ 頁数未定